

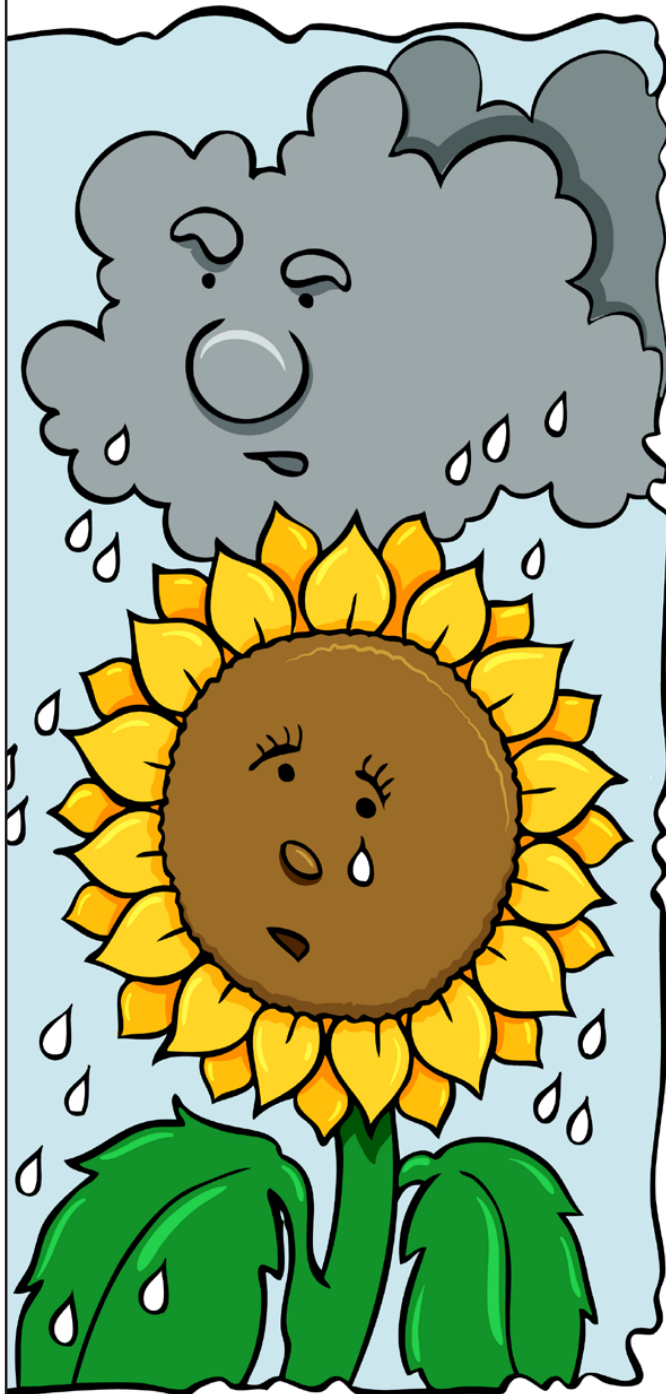
たい よう 太陽は また 出てくるよ



もし あの ひまわりが、
あまぐも たいよう み
雨雲で 太陽が 見えなく
なるたびに 悲しんで

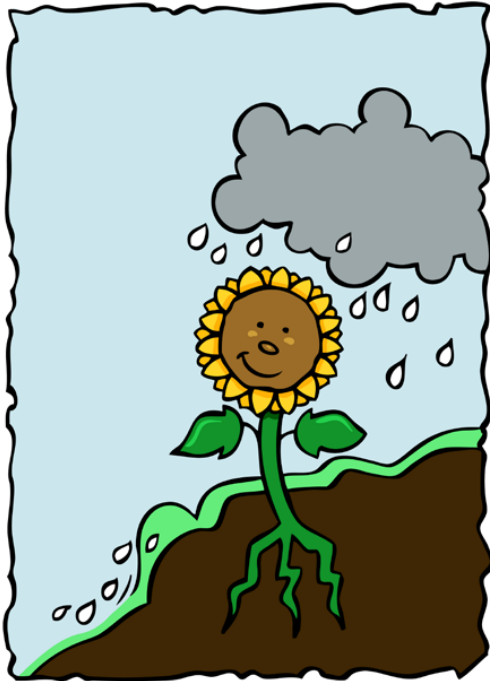
いたと したら、どうだろう。
せいちょう
成長するためには いっぱい
おひさまを あ
浴びなくちゃ
いけないのに、嵐が 来て
なんにち あめ つつ
何日も 雨が ふり続いたから、
まっす 直ぐ のびるのは
もう 無理だって、ひまわりが
おも 思ったと したら？

それが、地面が あまりにも
みず
水びたしに なったら、
ぬかるんだ 地面から
ね 根っこが ぬけて たおれて
しまうかもって、
しんぱい
心配するかな？ そんなに
あめ
雨が ふって じめじめ
していたら、まっす 直ぐに
た 立って いるのは
むずかしそうだね。



でも、ひまわりが 気付いて いないのは、
あめ きせつ えいえん つつ
雨の 季節が 永遠には 続かないって ことだ。
それに、ひまわりや まわりの しょうぶつ
植物も みんな、
ほんとう せいちょう みず ひつよう
本当は 成長のために 水を 必要と
している。だから、あめ
ひつよう
必要なんだ。ミミスだって、
げん き
元気で いるためには、
あまみず ひつよう
雨水が 必要なんだよ。





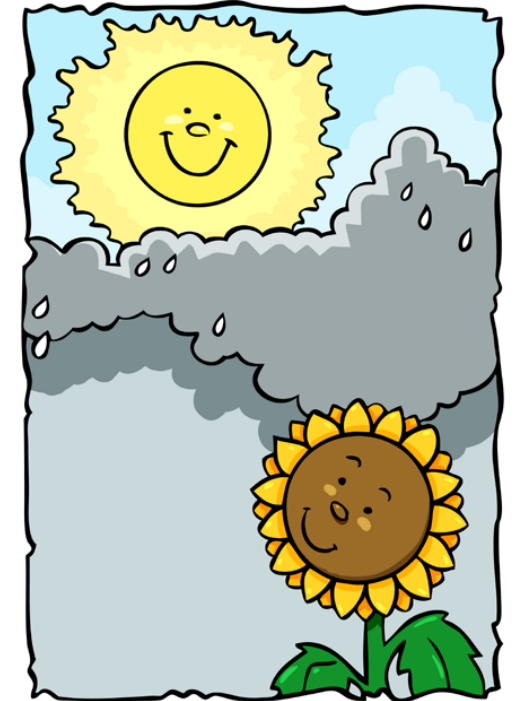
植物は 成長しながら、根も
 地中 深くに のびていく。根を
 張れば、植物は しっかり 立って
 いられるからね。根は、植物が
 必要としている 栄養を
 地中から 取りこむ
 役目も 果たすんだよ。



その 栄養が、くきを
 のばし、葉を しげらせ、
 花を きれいに さがせるのに
 役立つんだ。



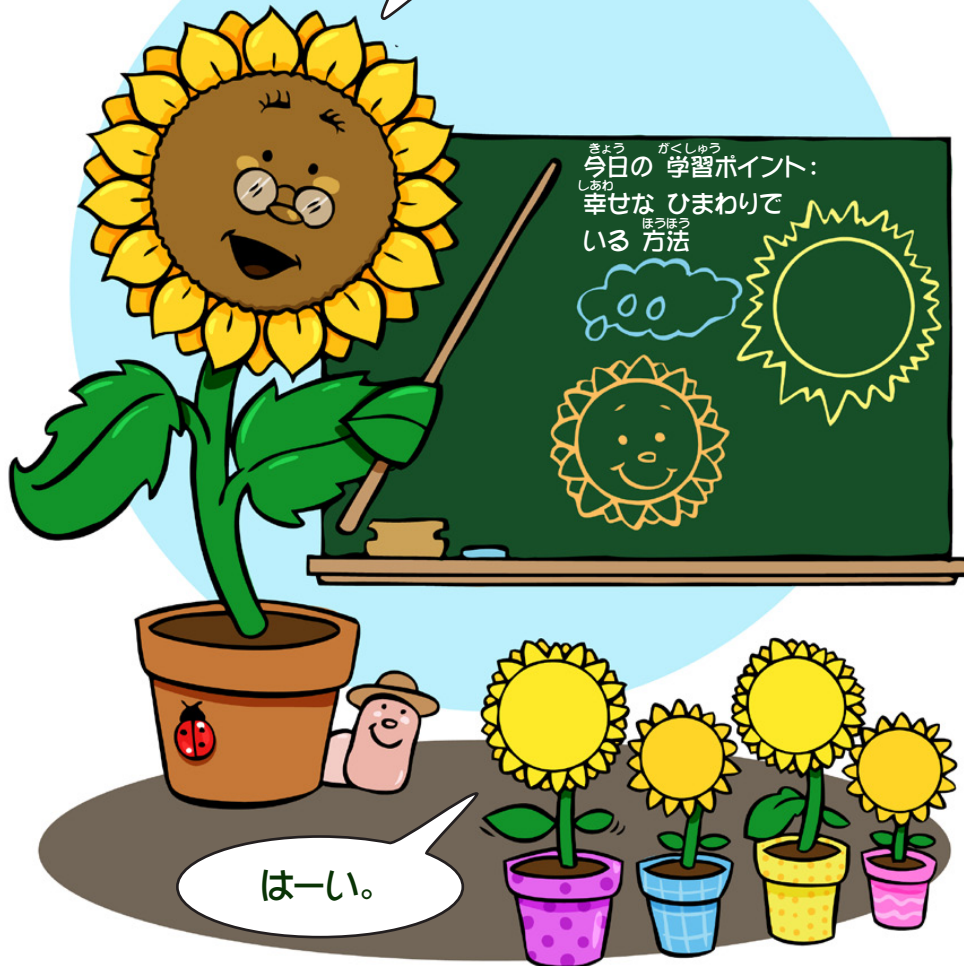
植物は じょうぶに 育つと、
 風が ぶいても、しっかりと
 立って いられるようになる。



雨雲や 嵐が 来ても、太陽は
 いつでも 輝いている ことを
 わすれては いけないよ。
 まもなく すれば、植物は
 また 太陽の 暖かさを
 感じるようになるからね。

きょう がくしゅう
今日 学習する ことは、

あまぐも そら ひろ かん
雨雲が 空に 広がって ゆううつに 感じる
とき あまぐも む たいよう
時も、雨雲の 向こうでは いつも 太陽が
あが かがや
明るく 輝いているということ。それを
わすれないように しましょうね。



お 起こっても、それで まる にち
がっかりするような ことが 起ころうと、それで 丸1日を だいなしに
させる ことは ありません。あまぐも そら こんなん
雨雲が 空を おおいつくしている 困難な
とき かんが
時の ことを 考えてみましょう。どんなに くら 暗くて あらし
嵐が ひどくても、
たいよう
太陽は いつでも かがや
輝いているし、まもなく すれば、くも あいだ
雲の 間からも
ひかり さ
光が 差してくるでしょう。



むずかしい ことが あっても、^{こん}根^き気よく がんばりましょう。
そういう ^{とき}時^ここそ、ねばり^{つよ}強さを ^み身^つに 着けられるのです。

^{いっしょう}一^{めい}生^{めい}けん命 がんばって いれば、そのうち、できるように
なりますよ。





どう
お父さん、昨日は ひまわりの
はなし
お話を してくれて、ありがとう。
きょう がつこう わ
今日は 学校で、分からない ことが
あったんだけどね。

べんきょう
勉強が むずかしかったり、がつかりする ことが
お とき まえ む かんが
起こった 時は、前向きに 考えて、あきらめずに
がんばりましょう。がつかりする ことや かな
悲しい ことで、
あきらめさせられては いけません。さいご かなら
最後には 必ず、
あきらめなかった ことを うれしく 思うでしょう。



とき どう
その時、お父さんが
い
言ってた、むずかしい ことが
あっても あきらめない ことを
おも だ
思い出したの。それで がんばったら、
さいご わ
最後には 分かるように
なったのよ。

それは よかった、
ローラ。あきらめずに がんばる
ことって、いつも やりがいが
あるね!